



2/17

## 丹精込めて作りました ヤギのメアリーへお家をプレゼント



宜野湾中学校の3年生2名が、同校で飼育しているヤギのメアリーのため、素敵なヤギ小屋を作りました。生活福祉課で実施する「出前子どもの居場所」事業の中で、長田区の富濱宗茂さんらの指導を受けながら整地作業からはじめて、4カ月かけ完成させました。屋根には手作りのシーサーや看板も設置しています。完成式で生徒たちは「メアリー喜んで」と嬉しそうに笑顔を見せていました。

2/20~  
2/21

## ちゅうぶのまーさむんをPR 南中部農産物フェアを開催



宜野湾市をはじめ中城村、北中城村、西原町で栽培された農産物の普及と消費拡大を目指すことを目的に、「南中部農産物フェア」がサンエー経塚シティにて開催され、田芋や小松菜、トマトといった中部の農家さんが気持ちを込めて育てたまーさむんが販売されました。担当した職員は「コロナ禍により開催も危ぶまれましたが、盛会のうちに終了することができ、また、パネルやDVDなどにより4市町村のPRもしっかりできたと思います」と話しました。

2/24

## これからのまちづくりに役立てていきます 宜野湾市人口ビジョン策定



琉球大学にて、宜野湾市の将来展望を描いた人口ビジョン策定の報告会が行われました。琉球大学とは平成27年に連携強化・地域貢献のための包括協定を締結しており、このたび本協定に基づき業務委託を行い、国際地域創造学部瀬口教授と研究室の学生に人口ビジョンを作成していただきました。琉球大学の西田睦学長は「本研究が、まちづくりに寄与し、本学と市の連携強化につながることを期待しています」と話しました。

2/25

## 自ら考え、経験し探究する G1マイプロジェクトアワードを開催



宜野湾高校にて、地域課題とSDGsを結び付け、解決策に向けて探究し立案する「マイプロジェクト」の発表会が行われ、同校の1、2年生が、約8カ月間で探究した140のプロジェクトが発表されました。発表した同校1年生の米須美海さんは、「基地について、興味がない回答をした大半の10代は、跡地利用については、自分の好きな商業施設が建ってほしいと回答していました。そうであれば、もっと基地について興味をもってほしい」と語りました。

2/26

## 新しい出会い、発見など貴重な体験を報告 オンライン帰国報告会を開催



市では、国際的視野をもった人材の育成を図ることを目的に、海外友好都市締結先である中国福建省廈門市の大学へ市民留学生を派遣しています。令和元年9月に出発し、約5カ月間の留学を終えた第18期海外留学生の末吉りんかさんによる「宜野湾市海外留学生派遣事業オンライン帰国報告会」がオンライン上で開催されました。末吉さんは、「今後も中国語学習と琉球舞踊を継続し、中国と沖縄を繋ぐ架け橋になりたい」と話しました。

2/26

## 誕生10周年プロジェクト 市内学童野球チームへプレゼント



横浜DeNAベイスターズより、誕生10周年プロジェクトとして本市をはじめ県内外の6市町村の学童野球チームへYDBギフトバッグを配布しました。オンライン上で行われた贈呈式の中、三浦監督は、「新型コロナの影響で思うように練習が難しいなかですが、ギフトバッグで少しでもサポートできると嬉しいです」と話しました。式には平良拳太郎投手も参加され、学童野球チームを代表して出席した4名からの質問コーナーも行われました。